

## 国語 1 案内文を書く（美術展のちらし）

- 1 第一中学校では、毎年、美術の時間につくった作品を展示する美術展を行っています。今年は、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに、内容を工夫して開催します。実行委員の中井さんは、地域の小学校6年生に向けて、来場を促すためのちらしを作成することになりました。次は、中井さんが参考にした【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】と、文書作成ソフトを用いて作成している【ちらし】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】

### 第一中学校

ホーム	学校紹介	行事予定	学校生活	保護者の方へ
-----	------	------	------	--------

#### 行事のご案内

更新日 令和7年10月3日

#### 美術展の開催のお知らせ

秋の恒例となった「第一中学校 美術展」を開催いたします。各学年の生徒たちは、美術展に向けて作品づくりに励んでおります。ご多忙とは存じますが、生徒たちの力作をご覧いただければ幸いです。ご来校をお待ちしております。

◆開催日時  
令和7年11月15日（土） 10時～16時

◆開催場所  
第一中学校 体育館

【ちらし】

### 第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。  
私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいいしの出来です。  
今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

日時 令和7年11月15日（土） 10時～16時  
場所 第一中学校 体育館

会場図

体験できる時間（各回30分間）  
①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～

一 中井さんは、【ちらし】の——線部「かいいしん」を漢字に変換しようとしています。漢字に変換したものとして最も適切なものを、次の1から3までの中から1つ選びなさい。


- 1 会心
- 2 改心
- 3 改新

二 中井さんは、【ちらし】に、【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】には示されていない「会場図」を加えました。どのような目的で加えたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 小学校6年生に向けたちらしであることを示すため。
- 2 ウェブページの情報と比較しやすくするため。
- 3 会場となる体育館まで迷わずに来てもらうため。
- 4 展示する作品と体験コーナーの内容や配置を伝えるため。

【ちらし】(更新版①)

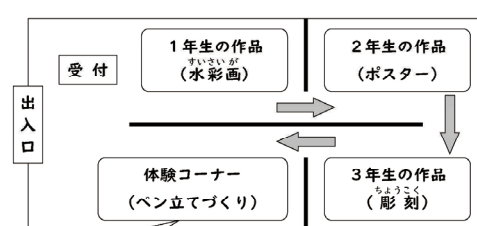
## 第一中学校 美術展



毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。  
 私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。  
 体験コーナーでは、~~中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。~~

日時 令和7年11月15日(土) 10時~16時  
 場所 第一中学校 体育館  
 会場図




体験できる時間(各回30分間)  
 ①10時~ ②11時~ ③12時~ ④13時~  
 中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

三 中井さんは、【ちらし】(更新版①)のように、——線の部分を削除して  の中に書き加えました。その意図を説明したもとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 具体例を示したあとに要点を示すことで、中心となる情報に対する読み手の理解を深めようとした。
- 2 伝えるべき事柄に見出しを付けることで、読み手に速やかに情報を伝えようとした。
- 3 情報を示す位置を整理することで、関連する情報を読み手がまとめて得られるようにした。
- 4 時間の流れに沿って情報を示すことで、読み手が必要とする情報を見付けやすくした。

【ちらし】(更新版②)

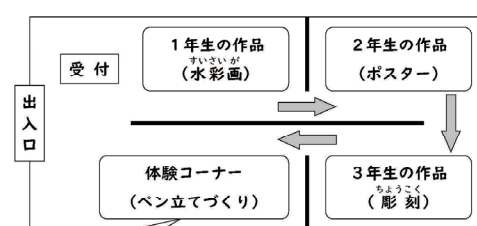
## 第一中学校 美術展



毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。  
 私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

日時 令和7年11月15日(土) 10時~16時  
 場所 第一中学校 体育館  
 会場図



体験できる時間(各回30分間)  
 ①10時~ ②11時~ ③12時~ ④13時~  
 中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

第一小学校6年生のみなさんへ

四 今年の美術展では、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【ちらし】(更新版②)の  の部分に書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

- 条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つ選び(どちらを選んでもかまいません。)、それと結び付く小学生の【感想の一部】をアからウまでの中から1つ選び、それぞれ塗りつぶすこと。
- 条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を使って書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。  
 解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【工夫】

- A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。
- B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年は体験コーナーを設けて、小学生につくってもらおう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

- ア どうやってあんなすばらしい作品をつくったのか知りたくなりました。美術でどんなことを学べるのが楽しみです。
- イ いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いように感じました。
- ウ おみやげにペン立てをもらえてよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

【工夫】

【感想の一部】

A  B

ア  イ  ウ

← 選んだ【工夫】と【感想の一部】の記号を塗りつぶしなさい。

第一小学校6年生のみなさんへ

.....
.....
.....
.....

出題の趣旨

- 案内文を書く場面において、次のことができるかどうかをみる。
- ・ 文脈に即して漢字を正しく使うこと
  - ・ 目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること
  - ・ 書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えること
  - ・ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと

「B書くこと」の学習においては、「題材の設定、情報の収集、内容の検討」、「構成の検討」、「考えの形成、記述」、「推敲」、「共有」に関する各指導事項が示す資質・能力を身に付けることができるように、意図的・計画的に指導を重ねることが大切である。指導計画の作成に当たっては、書くことに関する資質・能力が確実に育成できるように、実際に文章を書く活動を多くすることが必要である。指導の際には、[知識及び技能]の各指導事項との関連を図るとともに、生徒が日常の書く活動に生かすことを意識しながら学習できるようにすることが重要である。

実用的な文章を書く言語活動を設定する際には、他教科等の学習や学校の教育活動全体との関連を図り、実際に書いて伝えたり、読み手の反応を受け取ったりすることができるよう工夫することが考えられる。行事等を案内する文章には、行事名、日時、場所、内容などのほか、参加してほしいといったお願いなど、必要な情報を漏れなく書く必要がある。その際、生徒が、相手や目的に応じて伝えるべき事柄を選択したり再構成したりして、簡潔に分かりやすく書くことができるよう指導することが大切である。

本問では、文書作成ソフトを使って、学校で行う美術展のちらしを作成する場面を設定した。文脈に即して漢字を正しく使ったり、読み手である地域の小学校6年生の立場に立って、情報を加えたり整理して示したりするとともに、特に伝えたいことについて根拠を明確にして書くことを求めている。

## ■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動。

(参考)

〔第3学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動。

### 設問一

#### 趣旨

文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる。

## ■学習指導要領における内容

〔第2学年〕 知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 《漢字》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答
①	1	1と解答しているもの	35.7	◎
	2	2と解答しているもの	31.6	
	3	3と解答しているもの	32.5	
	99	上記以外の解答	0.0	
	0	無解答	0.2	

### 2. 分析結果と課題

○ 解答類型2、3の反応率の合計は64.1%である。このように解答した生徒は、文脈に即して漢字を正しく使うことに課題がある。

解答類型2、3の生徒は、「どれもかいしんの出来です。」の「かいしん」について、文脈から意味を捉えることができなかつたものと考えられる。または、意味を捉えることはできたものの、「会心」、「改心」、「改新」のいずれを使うのが正しいかを判断して選ぶことができなかつたものとも考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 文脈に即して意味に注意しながら漢字を正しく使う

漢字の指導においては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、文脈に即して漢字を正しく使うように指導することが大切である。漢字の書きについては、小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字1,026字について、中学校修了までに文や文章の中で使い慣れるよう指導することが求められている。その際には、各学年の語彙の指導事項の内容と関連付け、音訓を意識し、同音異義語などの意味の違いに注意するなどして、漢字を正しく使うことができるよう指導することが大切である。

1人1台端末等を活用して文字を入力する活動を行う場合には、漢字がもつ意味に注意して、適切に選択することができるよう、漢字を正しく用いる態度と習慣とを養うことに留意することが必要である。その際、日本語入力システムの変換候補にある漢字の意味の違いを確認したり、必要に応じて辞書を引いたりすることを習慣付けるようにすることが大切である。

なお、漢字の読みについては、学習指導要領の学年別漢字配当表に示されている漢字1,026字に加え、中学校修了までに学年別漢字配当表以外の常用漢字の大体を読むことを求めている。

## 設問二

### 趣旨

目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 《題材の設定、情報の収集、内容の検討》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答	
①	二			
	1	1と解答しているもの	3.6	
	2	2と解答しているもの	1.9	
	3	3と解答しているもの	11.7	
	4	4と解答しているもの	82.7	◎
	99	上記以外の解答	0.0	
0	無解答	0.2		

### 2. 分析結果と課題

○ 解答類型1～3の反応率の合計は17.2%である。このように解答した生徒は、目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることに課題がある。

解答類型3の生徒は、【ちらし】が地域の小学校6年生の来場を促すためのものであることは踏まえているが、「会場図」の内容を捉えることができず、読み手が、会場となる体育館まで迷わずに来ることができるように、「会場図」を加えていると誤って捉えたものと考えられる。

### 3. 学習指導に当たって

#### 相手や目的に応じて、必要な情報を取捨選択する

案内文など実用的な文章を書く際には、相手や目的に応じて材料を比較しながら、伝えるべき事柄を取捨選択するなど、集めた材料を整理して簡潔に分かりやすく書く必要がある。

例えば、同じ行事を案内するウェブページとちらしについて、盛り込む内容を検討する学習活動が考えられる。その際、ウェブページとちらしを比較しながら、それぞれが想定する相手や目的などを具体的に考え、必要な情報を取捨選択することが大切である。

### 設問三

#### 趣旨

書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考  
えることができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を  
考えること。 《構成の検討》

#### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%)	正答	
①	三	1	1と解答しているもの	6.1	
		2	2と解答しているもの	14.3	
		3	3と解答しているもの	63.6	◎
		4	4と解答しているもの	15.4	
		99	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.5	

#### 2. 分析結果と課題

○ 解答類型1、2、4の反応率の合計は35.8%である。このように解答した生徒は、書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることに課題がある。

解答類型2、4の生徒は、【ちらし】全体の構成ではなく吹き出しの中の内容に着目したものと考えられる。解答類型2の生徒は、吹き出しの中に書かれている「体験できる時間(各回30分間)」が見出しであると誤って捉えたものと考えられる。解答類型4の生徒は、吹き出しの中に書かれている①～④の開始時刻を、時間の流れに沿って情報を示したものであると誤って捉えたものと考えられる。

#### 3. 学習指導に当たって

書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考える

案内文など実用的な文章を書く際には、項目ごとの内容のまとまりに、文章全体の中でどのような役割をもたせるかを明確にすることが必要である。その上で、集めた材料を比較、分類、関係付けなどして整理し、情報と情報との関係を見いだして、それぞれの情報を文章全体のどこに位置付けることが適切であるかなど、文章の構成や展開を考えながら書くことが大切である。

例えば、案内文に必要な項目を立て、それぞれの情報をどの項目に入れ、どのような順序で示すかなど、意図を明確にして文章の構成や展開を考える学習が考えられる。その際、本問で選択肢として示したもののよう、文章の構成や展開の意図として考えられるものを生徒に示しながら考えさせることも効果的である。

## 設問四

### 趣旨

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

ウ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

《考えの形成、記述》

### 1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答	
1	四	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【工夫】のいずれか一方と、【感想の一部】のいずれか一つを選んで、選んだ記号を塗り潰している。 ② 選んだ【工夫】に結び付く【感想の一部】を選んでいる。 ③ 選んだ【工夫】の内容と【感想の一部】の内容を適切に取り上げて書いている。 ④ 接続する語句や指示する語句を用いて、選んだ【工夫】と【感想の一部】とを適切に関係付けて書いている。		
		(正答例) ・ A、ア 昨年の来場者から、どうやって作品をつくったのか知りたくなったという感想をもらいました。そこで、今年は中学生が作品について説明します。気になる作品があったら、ぜひ中学生に質問してください。 ・ A、イ 昨年、「思いのこもった作品が多いように感じました。」という感想をもらったので、今年、作品にどんな思いをこめたのか、中学生が説明することにしました。心にひびく作品があったら、声をかけてくださいね。 ・ B、ア 今年、ペン立てづくりの体験コーナーを設けています。昨年の来場者から、美術の授業が楽しみだという感想があったので、美術の時間に学習することを体験できる企画を考えました。興味がある人は、ぜひ参加してください。 ・ B、ウ 今年、ペン立てづくりの体験コーナーを設けています。これは、昨年の参加者から、つくってみたいという感想をもらったからです。みなさんの参加をお待ちしています。		
	1	条件①、②、③、④を満たして解答しているもの	31.2	◎
	2	条件①、②、③を満たし、条件④を満たさないで解答しているもの	8.2	
	3	条件①、②、④を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	0.2	
	99	上記以外の解答	58.7	
0	無解答	1.6		

## 2. 分析結果と課題

- 令和4年度【中学校】国語2三（正答率46.5%）において、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」に課題が見られた。また、令和5年度【中学校】国語3四（正答率72.5%）において、同様の趣旨で出題したところ、改善の状況が見られた。これらに関連して、本問でも、同様の趣旨で出題したところ、正答率は31.2%であった。今回の結果から、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことについて、引き続き課題があると考えられる。

(参照)

「令和4年度【中学校】報告書」 pp.30-41

[https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukoku/report/data/22mlang\\_04.pdf#page=12](https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukoku/report/data/22mlang_04.pdf#page=12)

「令和5年度【中学校】報告書」 pp.48-60

[https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23mlang\\_04.pdf#page=31](https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23mlang_04.pdf#page=31)

- 解答類型2について、具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

・ A、イ

今年の美術展では、中学生が作品について説明します。昨年参加した小学生の感想に、いろいろな作品が展示されていて楽しかったという声がありました。

・ B、ウ

去年は、おみやげのペン立てを私もつくってみたいという感想をもらいました。しかし、今年は、自分でペン立てをつくる体験コーナーがあります。

このように解答した生徒は、選んだ【工夫】の内容と【感想の一部】の内容を適切に取り上げることはできているが、接続する語句や指示する語句を用いて【工夫】と【感想の一部】を適切に関係付けて書くことができていない。または、接続する語句や指示する語句を用いて書くことはできているが、選んだ【工夫】と【感想の一部】との関係を適切に示して書くことができていない。

- 解答類型99について、具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

・ A、ア

今回の美術展では、みなさんの質問に応じて作品の説明をすることにしました。  
中学生にたくさん質問してください。

・ B、ウ

昨年おみやげにしていたペン立てについての感想がありました。今年は自分でペン立てをつくって、おみやげとして持ち帰ることができるようにしました。ぜひ体験してみてください。

このように解答した生徒は、選んだ【工夫】の内容を適切に取り上げることはできているが、【感想の一部】の内容を示して書くことができていない。または、選んだ【工夫】の内容を適切に取り上げることはできているが、それに結び付く【感想の一部】の内容を適切に取り上げることができていない。

### 3. 学習指導に当たって

#### 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く

自分の考えが伝わる文章にするためには、意見とそれを支える根拠を明確にして書くことが重要である。根拠を明確にするためには、まず、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認することが必要である。その際に、接続する語句や指示する語句を用いるなどして、伝えたい事柄とその根拠とを適切に結び付けたり、事実や事柄を具体的に示したりして書くよう指導することが大切である。

例えば、提案や企画など、相手や目的を明確にして自分の考えを簡潔にまとめて書く学習が考えられる。その際、書く内容に沿って集めてきた材料を、意見と根拠の関係などに着目して、関連付けながら整理することが考えられる。その上で、自分の提案や企画が、どのような事実や事柄に基づいたものであるかを書くことが重要である。文章で正確に伝えるためには言葉を正確に使う必要があることから、接続する語句や指示する語句を適切に使うなどして、意見と根拠の関係を明確に示すことも大切である。具体的な授業のアイディアの一例を次に示す。

## 授業アイデア例 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章を書く

### 【本アイデア例と関連する問題及び学習指導要領における内容】

設問四 正答率 31.2%

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B

ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

### 教材

- 取り上げる行事の次第、参加者のアンケートなど

### 学習の流れ

#### 第1時

#### ① 学習の見通しをもつ。



教師

学校生活を送っていると「〇〇はもっとこうしたいな」といったアイデアが思い浮かびますね。それらのアイデアを実現するためには、アイデアを人に理解してもらったり、納得してもらったりする必要があります。今回は、新入生説明会について提案する文章を書くことを通して、自分の考えが伝わる文章を書くための工夫の仕方について学習していきましょう。

#### ② 昨年度の次第や参加者アンケートを読み、新入生説明会を充実させるアイデアを考える。

##### 〔昨年度の次第〕

###### 新入生説明会次第

1. 開会の言葉
2. 校長先生の挨拶
3. 学校生活について
  - ・ 学習
  - ・ 生活
  - ・ 行事
4. 生徒会より

##### 〔参加した小学生のアンケート〕

###### アンケート結果

###### ・ 説明会に参加しての感想

小学校で使っていた道具で、  
どれが中学校でも使うのか教えて  
ほしかった。

行事の説明があったけれど、  
小学校との違いがよく分からな  
かった。



グループで資料の内容を確認して、新入生説明会を企画・運営する生徒会役員にどのような提案をするとよいかを考えましょう。

##### 〔生徒の話合いの例〕



「小学校で使っていた道具で、どれが中学校でも使うのか教えてほしかった。」という感想がありますね。

中学校でも使える道具は何かをクイズの形式で紹介したら、小学生も楽しく理解できると思います。





様々な方法がありそうですね。グループで出し合った意見を参考に、自分は参加者のアンケートのどの部分に注目して、どのような提案をしていきたいか決めましょう。

※ クラウド上のシート等に記入させ、相互参照できるようにすることが考えられる。

## 第2時

### ③ 自分が考えたアイデアを提案する文章を書く。



自分が考えたアイデアを生徒会役員に納得してもらうには、何をどのように書いたらよいでしょうか。アイデアを提案する文章をまずは書いてみましょう。

#### 〔生徒が書いた文章の例〕

私は、中学校でも使える道具が何かを紹介するクイズをするとよいと思います。絵の具など小学校で使っている道具を中学校の授業でも使うかどうかを、クイズで楽しく教えられると小学生も分かりやすいと思います。

### ④ 書いた文章を検討する。



皆さんいろいろな書き方で書いていますね。書き方の例をいくつか示します。読み手に納得してもらうための書き方として、それぞれのよい点や不十分な点はどこか考えてみましょう。

#### 〔書き方の例〕

㊦

昨年度の新入生説明会では、普段の授業の様子を知りたいという感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

㊧

昨年度の新入生説明会では、学校行事についての感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

㊨

今年度の新生説明会では、学校行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。例えば、体育祭の学級対抗リレーが盛り上がっている様子を見せることにしてはどうかと考えました。

㊩

昨年度の新入生説明会では、学校行事について、小学校との違いが分からなかったという感想がありました。今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。

〔生徒の話合いの例〕

㉑は、何をするかはよく分かりますが、どこからそう考えたのかが不十分なので納得できません。㉒はどこからそう考えたのか分かるので、納得できると思います。



でも、㉒は、行事の動画を見せるという提案をしているけれど、取り上げている「授業の様子を知りたい」という感想はこの提案に結びついていませんよ。

㉑は、着目した感想は述べているけれど、どのような感想か分からないので、この提案でよいのかよく分かりません。



㉑は、取り上げた感想と提案がきちんと結び付いているし、感想の内容もよく分かるので、読み手も納得できそうですね。



そうですね。㉑は、自分の考えだけでなく、その根拠を具体的に書いているので、納得できそうですね。でも、もう少し読み手が理解しやすいように書くためには、前の文と後の文の関係をはっきりと示したほうがいいですね。㉑に、どのような言葉を入れると分かりやすくなりますか。

「今年度は、」の前に「そこで」や「だから」など、前の文と後の文をつなぐ言葉を入れるとよいと思います。



〔修正の例〕

㉑

昨年度の新入生説明会では、学校行事について、小学校との違いが分からなかったという感想がありました。そこで、今年度は、行事の様子を動画で見せることを提案したいと思います。



読み手に納得してもらうためには、自分の考えを詳しく書くだけでなく、その根拠となる事実や事柄を示す必要がありますね。また、その根拠を明確に示すために、自分の考えと根拠との関係を表す言葉を使って書くことも大切です。このような視点で自分の文章を見直しましょう。

⑤ 自分の文章を改善する。

〔生徒が修正した例〕

私は、中学校でも使える道具が何かを紹介するクイズをするとよいと思います。絵の具など小学校で使っている道具を中学校の授業でも使うかどうかを、クイズで楽しく教えられると小学生も分かりやすいと思います。



昨年度の新入生説明会の感想に「小学校で使っていた道具でどれが中学校でも使うのか教えてほしかった」という声がありました。そこで私は、中学校でも使える道具が何かを紹介するクイズを提案します。具体的には、絵の具など小学校

※ 必要に応じて、提案する内容と根拠を示す順序、接続する語句等について助言する。

※ 1人1台端末を活用するなどして、修正の前後が分かるように提出や保存、修正の仕方を工夫する。

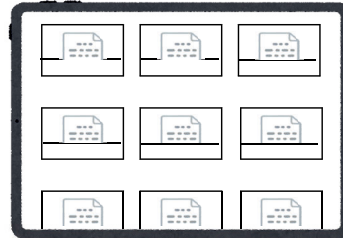
第3時

⑥ 書いた文章を読み合い、書き方のよかった点を伝え合う。



自分の考えが伝わるように根拠を明確にして提案する文章を書いてきましたが、実際の書き方にはどのような違いがあるでしょうか。お互いの文章を読んで、気付いたことを挙げてみましょう。

〔クラウドでの共有の例〕



〔生徒の発言の例〕



私は、先に感想を書いてから、自分のアイデアを説明しましたが、Aさんのように、先に提案したいアイデアを書いてから根拠となる感想に触れても分かりやすいと思いました。



私は「そこで」を使って意見と根拠を結び付けて書きましたが、Bさんは「これらを解決するためには」という言葉を使っていました。このような表現でも関係はしっかり伝わりますね。



Cさんのように、一つのアイデアに対して複数の感想を根拠として取り上げていると、より必要性が感じられると思います。



気付いたことを踏まえて、自分の文章を見直してみましょう。見直して、修正したいところがあれば修正しましょう。

※ 1人1台端末を活用するなどして、修正の前後が分かるように提出や保存、修正の仕方を工夫する。

⑦ 学習を振り返る。



今回の自分の文章で、自分がどんな意図で、どのような工夫をして書いたか、改めて振り返りましょう。それを踏まえて、読み手に納得してもらえるように考えを書いて伝えることについて、学んだことを書きましょう。

【活用する際のポイント】

- ④～⑥では、文章について着目する点を明確にすることが重要である。そのため、アイデアを提案する文章については、自分の考えとその根拠を簡潔に書かせることが効果的である。
- 他教科等の学習との関連を図り、生徒や学校の実態に応じて別の話題を取り上げて書くことも考えられる。